



子ども・子育て支援の推進は

石崎 誠子議員

あらゆる分野から全力でサポートする
子育て支援事業担当部長

問 愛西市子ども・子育て支援事業計画、並びに愛西市子育て応援プランの第1期計画の評価は。

答 子育て世代包括支援センターを設置し、相談支援体制を構築した。また、関係機関との連携、子育てポータルサイト開設、子育て人材バンク設置等、子育て施策の推進に努めることができた。

問 子ども子育て支援事業計画策定のデータ収集を目的とした、就学前児童・小学生の保護者を対象にしたアンケート調査では、どんな課題があったのか。また、どう取り組んでいくのか。

答 子育て世代包括支援センターの認知度が約2割であった。子育て世代だけでなく、妊娠期の方へもより一層のPRを図る。母子コーディネートを増員し、相談支援体制の整備に取り組み。

問 第2期計画では、子ども子育て支援をどう進めるのか。

答 子どもが元気に育つ環境づくり、地域が子育て家庭と子どもを支える環境づくり、子どもや若者と共に築く地域づくりを基にあらゆる分野から全力でサポートしていく。

SDGsを原動力にした市の取り組みは

問 これまでのまち・ひと・しごと創生総合戦略の評価は。

答 概ね目標達成に向けて進捗しているが、基本目標3「子育てしてみたいまち」については、効果が十分発現するに至らず、引き続き検討する。

問 新たな視点のSDGsを原動力にした今後の市の取り組み、民間や市民との協働についての考えは。

答 第2次総合戦略の事業の進捗により、取り組みを進める。民間、市民との協働の在り方については、手法も含め検討する。

問 近未来を見据え、市民が安心して暮らせる環境を保持していく具体的な方向性や施策は。

答 市民意識調査の結果を踏まえ、今後も住み続けたいと思えるよう、時代に即した各種事業の展開ができるような計画とし、進捗状況を確認しながら遂行していく。

※SDGsとは

平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」として位置付けられた17種の国際目標。



▲愛西市第2次総合戦略に加えられた新たな視点の「SDGsを原動力にした地方創生」